

かしわスマートサイクル 自転車を街で共有し、新たな公共交通に



人にも地球にも優しい乗り物として注目される自転車。これまでは個人所有が中心でしたが、最近では街で自転車を共同利用するコミュニティサイクルの取り組みが広がっています。柏の葉では、国内で初めて自転車の台数調整にトラック輸送を行わない独自のシステムを開発。「かしわスマートサイクル」として社会実験を開始し、将来の事業化へ向けた検証を進めています。

携帯片手に簡単操作

かしわスマートサイクルで利用できる駐輪ポートは、現在5カ所。柏の葉アーバンデザインセンター、東京大学、柏の葉公園、柏たなか駅、北柏駅で約30台の自転車が稼働し、どのポートでも自由に貸出・返却が可能です。ICT技術を活用した無人貸出システムで運用することから、スマート(=賢い)サイクルと呼んでいます。

利用方法はとても簡単。初回の利用登録時に専用のICカードが発行され、電車で使うICカードなどと同様に必要な金額を事前にチャージしておきます。自転車を借りるときは、ポートに設置されている専用端末にICカードをかざすだけ。鍵の暗証番号など必要な情報が携帯電話に送信され、すぐに利用できます。料金は30分ごとに50円(30分未満は無料)。自動で利用時間を計算し、チャージ金額から差し引かれます。

柏の葉地区でのコミュニティサイクルの社会実験は、2009年6月に初めて実施。2009年11月には無人管理システムに発展し、2010年4月からは期間を1

年間に大幅延長して社会実験を始めました。システムが長期運用に耐えうるものか検証し、利用を重ねる中で生まれてくるニーズや問題点を吸い上げることで将来の事業化を検討していきます。

国内初の「お助けボーナスポイント」

自転車は、移動によるCO₂排出がないため環境に優しく、健康にも良い優れた乗り物。柏の葉地区では、街づくり方針「柏の葉国際キャンパスタウン構想」の中で、交通利用に占める自転車の分担率を10%向上させる目標を設定し、利用促進を図っています。そのための重要施策の一つがこのスマートサイクルです。

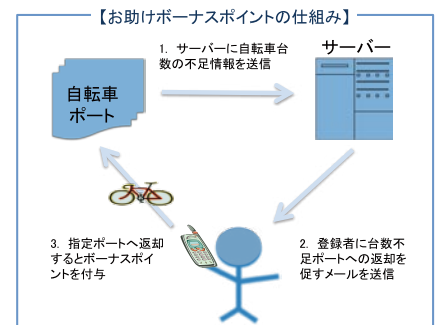
ただ、従来の自転車共同利用システムには大きな問題がありました。どのポートにも自由に返却できるので、利用中に各ポート間の自転車台数に偏りが生じてしまいます。このため、トラックで自転車を輸送して台数調整を行っており、せっかくのCO₂削減効果が半減していたのです。

そこで、柏独自に開発されたのが「お助けボーナスポイント」制度(右図)。利

用者同士が助け合うことで、トラックを使わずに台数の偏りを解消する画期的なシステムです。



ICカードをかざす場所は、かしわスマートサイクルのロゴマークが目印。数十秒の手続きで、誰でも簡単に利用できる。



各ポートの自転車台数が不足すると、返却を促すメールが登録者に送信される。指定時間内に返却した場合、200円分のボーナスポイントを付与。利用者にメリットを与えることで、ポート間の偏りを人の手で解消する。

かしわスマートサイクル

新しい公共交通へ

スマートサイクルは、個人利用が中心だった自転車を街ぐるみで活用し、電車やバスなど従来の公共交通を補完する新しい交通システムの構築を目指しています。スマートサイクルが定着することで、移動距離や天候、その日の気分によっても自由に移動手段を選べる快適なライフスタイルに。「普段はバスを使う距離だけど、天気がいいから運動も兼ねて自転車で」、「荷物が多い日は車で移動しているけど、手ぶらだから環境にいい自転車で」など、無理なく生活に自転車を取り入れることができます。

東京大学柏キャンパスに通う大学院生の小島良輝さんは、大学と柏の葉キャンパス駅の移動にバスとスマートサイクルを使い分けることが多いそう。「バスは出発時間まで待たなければならないが、自転車なら自分の好きなタイミングで移動できる」と、選択肢が広がり便利になったと喜んでいます。

また、無人管理により低コスト・省ス

ペースでのポート設置が可能なスマートサイクルは、これまではカバーできなかった場所へ交通網を広げる可能性も。車以外の交通手段がない場所へも公共交通の乗り継ぎで行けるようになると期待されます。スマートサイクルの普及による柔軟な交通システムの実現は、柏の葉地区の目指す「サステナブルな移動交通システム」の一つの姿かもしれません。

普及の決め手は安全性

自転車の利用促進には、スマートサイクルのように自転車を便利に使える仕組みとともに、安全に走行できる環境の整備が重要。柏市が2009年に市民に行ったアンケートでも、10年先を見通し必要だと思う交通環境整備の取り組みで1位に挙げた人が最も多かったのが自転車専用レーンの整備など走行環境を整えることでした。

柏の葉地区は、2008年に国土交通省から「自転車通行環境整備のモデル地区」に指定され、専用レーンの設置や道路上の自転車走行位置の明示など走行

環境の整備を進めています。

かしわスマートサイクルは、今後利用ニーズや需要に応じてポートの増設や自転車の増車を検討しています。1年間の社会実験の後、事業化していくためにもより多くの利用者の声が必要ですので、積極的に利用してみましょ。登録は、柏の葉アーバンデザインセンターで10:00~19:00の間に受け付けています。

かしわスマートサイクルに関するお問い合わせは柏市都市振興公社まで
 [電話] 04-7164-4141
 [Eメール] info@kashiwa-toshishinkou.or.jp



東京大学柏キャンパスの西側道路に設置された自転車専用レーン。車両や歩行者から分離され快適に走行できる。

キーパーソン・トーク



佐々木 政秀 氏
 柏市役所
 都市計画部 交通政策課 主査

交通政策に関わり4年目になります。公共交通の施策は市民の生活にダイレクトに関わるため、責任とともにやりがいを感じています。

柏市では、2010年3月に今後10年間の交通政策の方針をまとめた「柏市総合交通計画」を策定しました。これまでの車中心だった考え方から公共交通へ転換し、特に自転車にも注力しています。この交通計画では、これまで柏の葉で取り組んできた社会実験も先進事例として紹介しています。

かしわスマートサイクルは開始1カ月を過ぎまし

た。システムの不具合など多少のトラブルは発生していますが、登録者数、利用回数ともに順調に伸びていて十分手ごたえを感じています。

自転車は、環境によいことはもちろんですが、健康にもよく利用しただけ自分に跳ね返ってくるもの。私も通勤に利用していて、休日は大堀川や手賀沼沿いのサイクリングロードなど自然豊かなコースへ出かけています。柏は平坦な道が多く自転車には適した街です。くれぐれも安全には注意しながら、風を切って楽しんで走ってほしいです。

□編集後記□

環境に優しく、健康増進に役立つ自転車のもう一つの魅力は、移動時にいろいろな発見があること。車での高速移動では見過ごしがちな風景も、自転車であればゆっくりと眺めることができます。大通りを抜けて路地に入れば、これまで知らなかったお店を発見できるかも。移動を目的地までの手段にするのではなく、それ自体を楽しむゆとりを持ちたいですね。(蛭川)

●このニュースレターに関するお問い合わせ先

柏の葉アーバンデザインセンター (UDCK) 広報担当 小林、蛭川
 〒277-8518 千葉県柏市若柴字元堂178-3柏の葉キャンパス駅前148街区3画地
 TEL 04-7140-9686 FAX 04-7140-9688
 E-MAIL ma-kobayashi@udck.jp WEB http://www.udck.jp

